

- ㊦ やさしく 助け合う子(心)
  - ㊧ よく学び よく考える子(頭)
  - ㊨ いきいき元気に活動する子(体)
- 文責 校長 田崎 幸子



## 宿泊体験学習 (5年生)

5月25日(木)、26日(金)、5年生は1泊2日の宿泊体験学習でした。今年度は、コロナ禍前と同じ「国立夜須高原少年自然の家」へ。山々に囲まれた夜須は少し肌寒く感じましたが、美しい青葉に囲まれ、気持ちのよい空気と小鳥の鳴き声が聞こえてくるところでした。



「フィールドワーク」では、地図を見ながらCHECKポイントを確認してゴールを目指しました。遅れた友だちを待ったり声を掛け合ったりして、協力して活動しました。中には、スタート地点付近を何度もまわり「無理なあ～。」と話していた班もありましたが、どの班も無事にゴールすることができました。

「キャンプファイヤー」では、ダンスや劇、歌の披露、クイズなど多彩で、盛り上がりました。火を囲んで友情、協力の心や気持ちを深めていました。



「野外炊飯」は、ピザ作り。薪を割り、かまどに火を付けたり、粉から生地をつくって野菜やチーズをのせたりして作って食べることができました。

2日間の宿泊体験学習を通して事故やけががないよう、5年生担任はじめ職員は下見をしたり何度も協議を重ねたりしながら綿密な計画を立てました。解散式で子どもたちは「先生方ありがとうございました。」と心をこめて言うことができました。

保護者の中には「初めて家から離れた場所での宿泊でした」と心配された方もおられたことでしょう。しかし、自然の中での共同生活を通して、友達のよさを見つけ、自分自身をふり返ることができ、大きく成長した5年生です。宿泊体験学習での経験を今後の学習に生かしてほしいと思います。

## 読み聞かせ ありがとうございます



今年度も朝の読書の時間、読み聞かせボランティアの方々に来ていただきます。弥生が丘小の子どもたちは読書が好きで、休み時間には急いで図書室へ向かう姿がよく見られます。本を読んでもらうのも大好き

でいつの間にか身を乗り出して聞いています。

文部科学省は、読書を「子どもが、言葉を学び、完成を磨き、想像力を豊かにし、人生をより深く生きていく上で欠くことのできないものである」として、4月23日を「子ども読書の日」と定めています。また、脳科学研究でも読み聞かせは喜怒哀楽を司る大脳辺縁系が活発になり豊かな情緒を育てることがわかっているそうです。発達心理学研究では、コミュニケーションの力を育て「自ら学ぶ力」の土台となる、という報告があるとのこと。さらに川島隆太氏によると、



8週間の読み聞かせの結果、子どもの問題行動が減り、親のストレスが軽減され、さらに子ども自身のことばの力も向上したことも指摘されています。以上から、読み聞かせは脳の活性化、心の発達、ことばの発達、問題行動に効果を発揮するだけでなく、親のストレス軽減にも効果があったそうです。



是非、ご家庭でも「親子読書」「家読」にも取り組んでください。読んだ本を話題にして、たくさん会話していただくといいと思います。

読み聞かせボランティアのみなさん、ありがとうございます。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

\*図書委員会が中心となって「あじさい祭り」を計画中です。しおり作り、図書館クイズ、塗り絵、辞書引き大会など楽しい企画がいっぱいです。1・2年生を対象に読み聞かせボランティア「さくらんぼ」さんによるおはなし会も体育館で行われる予定です。

## 絵本「えんとつ町のプペル」贈呈

昨年度、本校に「プペルバス」をお呼びすることができ、今年度は「CHIMNEY TOWN」～こどもギフト～から1・2・3年生に「えんとつ町のプペル」の絵本をいただくことができました。



「英語表記もあるよ。ずっとずっと使ってね。」と「CHIMNEY TOWN」の三木さんからお話しされると「はーい」と元気な声で応えていました。

この絵本は、「子どもたちに絵本のプレゼントをして欲しい」という思いの方々のプレゼントです。いただいた本は大事に読んで欲しいと思います。ご家庭でも一緒に読んでみてください。



## PTA美化作業



5月20日(土)、PTA美化作業でした。グラウンド周辺の草刈りとグラウンド東側溝の砂上げでした。早朝の作業でしたが、たくさんの方々の協力で、グラウンド周辺の草はきれいに刈り取られ気持ちのよい学校になりました。



年1回の溝砂上げ作業では、たまっていた砂を上げ、グラウンド東側に運ぶことができました。

本会役員の皆様、参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。